

第3次

南箕輪村スポーツ推進計画

2024 - 2033



南箕輪村

目次

第 1 章 計画の概要	1
1 計画策定の趣旨	2
2 計画の性格（位置付け）	2
3 計画期間	3
4 SDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえた計画の推進	4
第 2 章 南箕輪村の現状と課題	5
1 南箕輪村民のスポーツに関する意識調査（令和4年度実施）	6
2 南箕輪村におけるスポーツ環境の課題	17
第 3 章 計画の基本的な考え方	19
1 基本理念	20
2 基本目標	21
3 体系図	22
第 4 章 具体的な施策	23
I 子どものスポーツ環境の充実	24
II ライフステージに応じたスポーツへの関わり方の向上	28
III スポーツ環境の充実	30
IV スポーツ推進と地域活性化	36
第 5 章 計画の実現に向けて	38
1 計画実現に向けた推進	39
2 適切な進行管理	39
3 成果指標と計画の検証	39
巻末資料	40
「計画策定の経緯」	41
「南箕輪村スポーツ推進計画策定委員会」委員名簿	42
「南箕輪村スポーツ推進審議会」委員名簿	43

第1章

計画の概要

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の性格（位置付け）
- 3 計画期間
- 4 SDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえた計画の推進

1 計画策定の趣旨

本村では、2014年度（平成26年度）から2023年度（令和5年度）までの10年間を計画期間とする「南箕輪村スポーツ推進基本計画」において、基本理念「村民一人ひとりの豊かなスポーツライフの創造」に基づき、「気軽にスポーツを楽しめる、地域に根ざしたスポーツ環境づくり」、「心と身体も豊かな人づくりとふれあいがあふれる元気で健康な生活の実現」に向けて取り組んできました。

この間、社会情勢の変化などにより、ライフスタイルは大きく変化し、スポーツに求められるニーズ、価値観も多様化、複雑化し、これからのスポーツ推進の施策にあっては、スポーツ推進のみならず、スポーツを活用した地域づくりを目指していくことも必要となってきました。

そこで、これまでの取組みや社会情勢の変化を踏まえ、本村のスポーツをさらに発展させていくために、「第3次南箕輪村スポーツ推進計画」を策定しました。

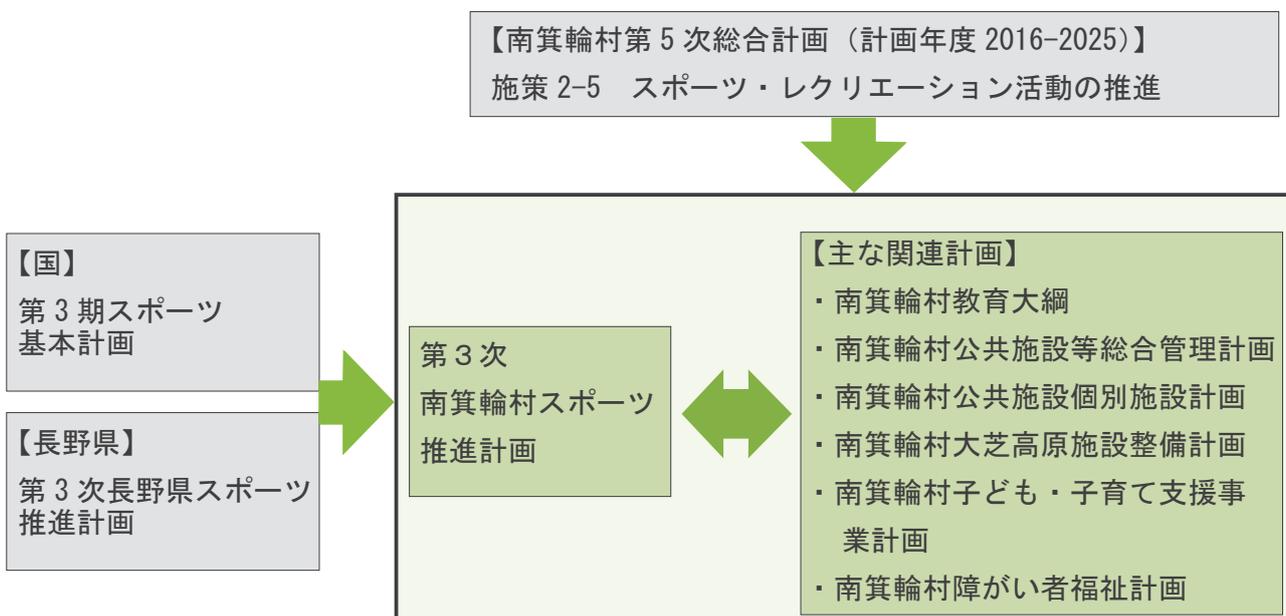
本計画は、①「子どものスポーツ環境の充実」、②「ライフステージに応じたスポーツへの関わり向上」、③「スポーツ環境の充実」、④「スポーツ推進と地域活性化」の四つを新たな基本目標とし、その施策の推進に行政やスポーツ団体、関係機関などと村民が一体となって取り組むための指針となるものです。

2 計画の性格（位置付け）

本計画は、スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第10条における「地方スポーツ推進計画」として位置づけられ、国の「第3期スポーツ基本計画」及び県の「第3次長野県スポーツ推進計画」、本村の「南箕輪村第5次総合計画」をはじめとする村の関連諸計画との整合性を図りながら、本村のスポーツ推進に関する施策をより効果的に推進していくための計画とします。

計画の実施にあたっては、社会的経済的情勢を勘案しながら弾力的に運用するものです。

<計画のイメージ>



3 計画期間

計画期間は、2024年度（令和6年度）から2033年度（令和15年度）までの10年間とし、概ね5年を目途に見直しを行います。

なお、計画期間内であっても、社会情勢の急激な変化や、国の「スポーツ基本計画」及び県の「スポーツ推進計画」の施策の展開を踏まえ、新たに計画に盛り込むべき事項が発生した場合は、必要に応じ計画を見直すものとします。

年度	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15
国	第3期 スポーツ基本計画 (2022-2026)									
県	第3次 長野県スポーツ推進計画 (2023-2027)									
南箕輪村	南箕輪村第5次総合計画 後期基本計画 (2021-2025)									
	第3次 南箕輪村スポーツ推進計画 (2024-2033)								必要に応じて 見直し	



4 SDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえた計画の推進

経済・社会・環境の課題を統合的に解決することを目指す SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みが、先進国、開発途上国を問わず始まっています。

SDGs 達成に向け政府が定めた「持続可能な開発目標指針（2016年（平成28年）12月）においては、地方自治体の計画などに SDGs の要素を最大限反映することが奨励されました。

誰一人取り残さない持続可能な社会を実現するため、2030年（令和12年）までに「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」など17の目標を掲げた SDGs の理念は、南箕輪村が目指すスポーツ推進計画の方向性と重なる部分が多いことから、本計画では SDGs 目標達成に向けた取組みを推進します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【南箕輪村が目指すスポーツ推進計画】



第 2 章

南箕輪村の現状と課題

- 1 南箕輪村民のスポーツに関する意識調査
(令和 4 年度実施)
- 2 南箕輪村におけるスポーツ環境の課題

1 南箕輪村民のスポーツに関する意識調査 (令和4年度実施)

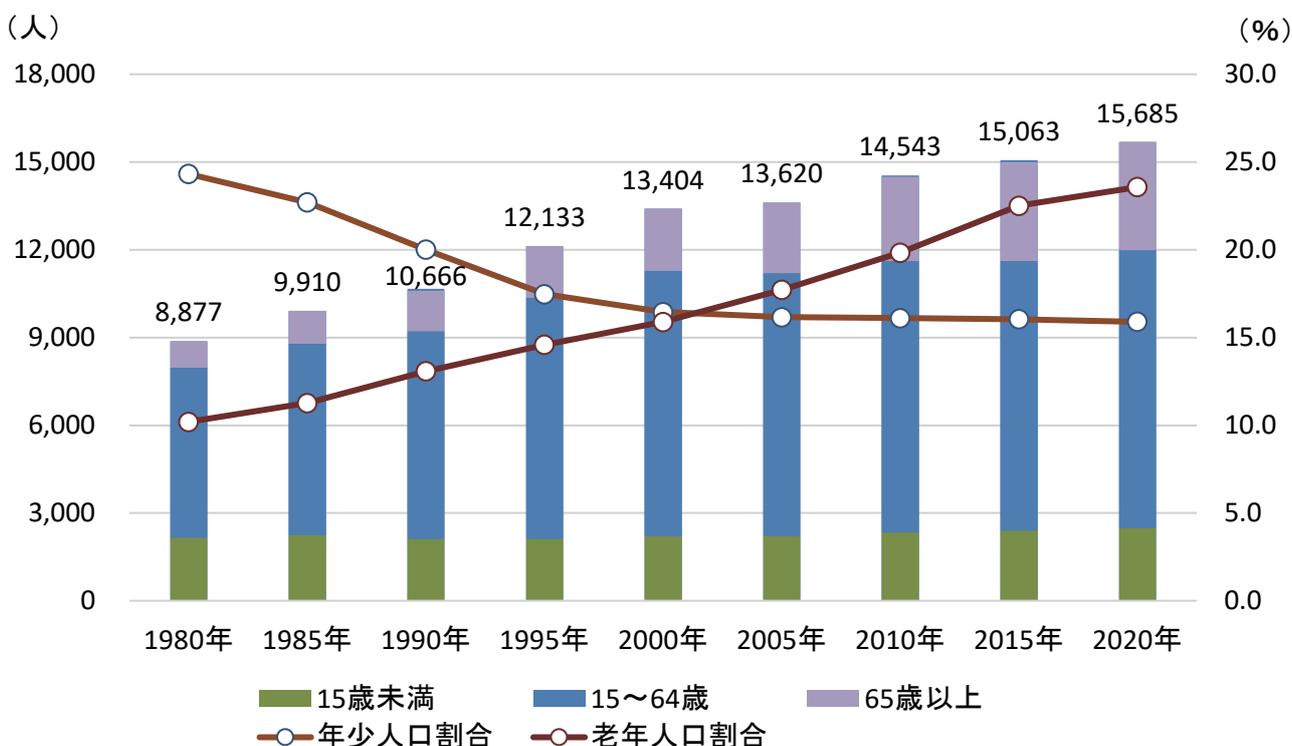
「第3次南箕輪村スポーツ推進計画」の策定に当たり、村民のスポーツや運動に対する意識や考えなどを把握し、今後の施策や事業に反映させるために「南箕輪村スポーツに関する村民アンケート調査」(以下「アンケート調査」という。)を実施しました。

<アンケート調査の概要>

調査対象	16歳以上の村民1,400名
調査方法	郵送による配布、郵送または電子アンケートによる回収
調査期間	令和4年11月18日～令和4年12月12日
回収状況	回収数520票(回収率37.1%)

(1) 本村の人口推移

現在、全国的に人口減少が課題となっている中、本村においては人口が増加しています。しかし、総人口に占める年少人口割合は、緩やかではありますが低下してきています。一方、生産年齢人口は増加傾向にあり、年齢別人口でみると、45歳から54歳の間が多くなっています。内閣府の『令和4年版高齢社会白書』によると、日本の高齢化率は28.9%となっています。本村では、2020年(令和2年)において23.6%となっており高齢化率が低いと言えますが、グラフにあるように高齢化率は年々高くなってきています。

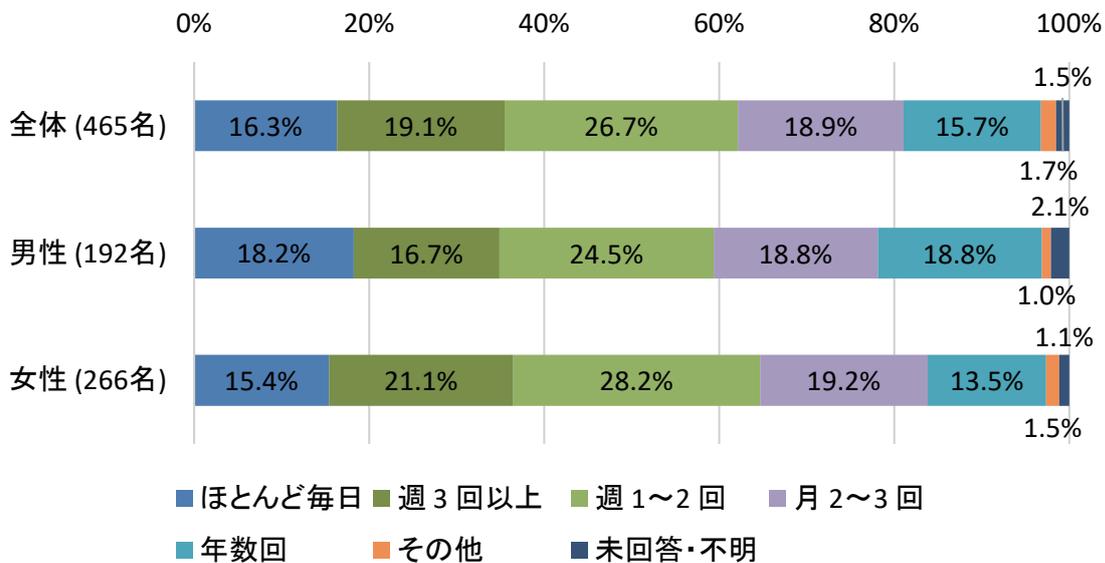


(2) スポーツや運動の実施状況

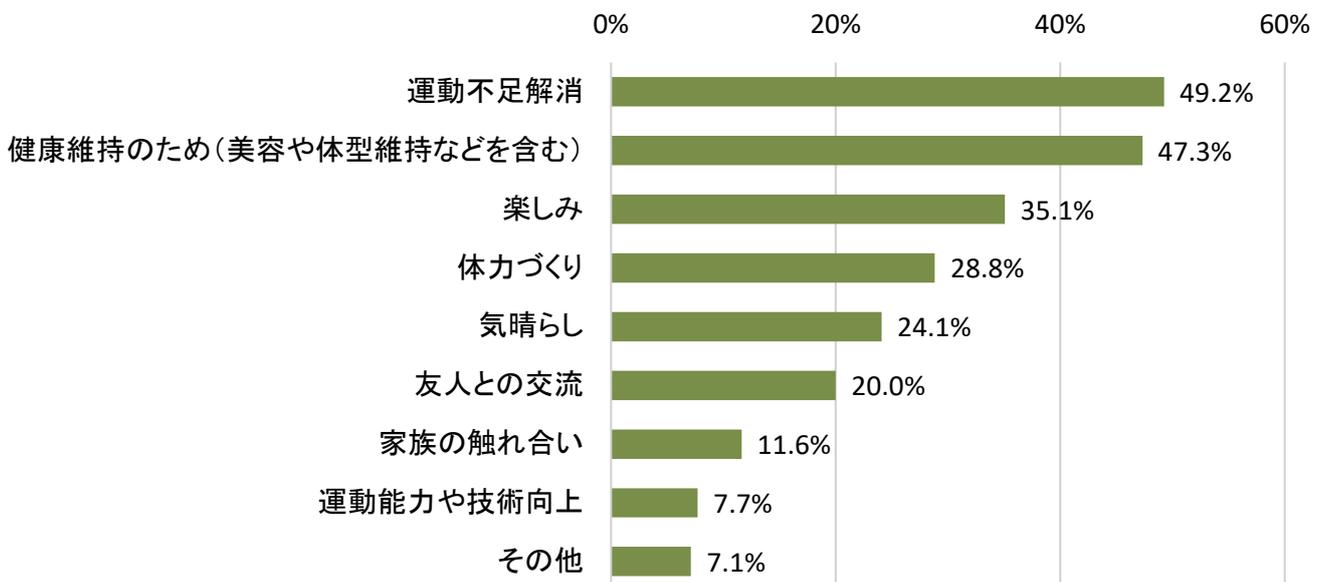
アンケート調査によると、スポーツや運動を行っている日数は「週1～2回」が26.7%、次いで「週3回以上」が19.1%、「月2～3回」が18.9%であり、全体として週1回以上運動している人は62.1%となっています。前回調査した2013年度（平成25年度）56.4%と比較すると5.7%上昇しています。

また、スポーツや運動をする主な理由については、「運動不足解消」が49.2%、次いで「健康維持のため（美容や体型維持などを含む）」が47.3%、「楽しみ」が35.1%であり、多くの人が健康づくりのためにスポーツや運動を行ったことがわかります。

<スポーツや運動を行っている日数>

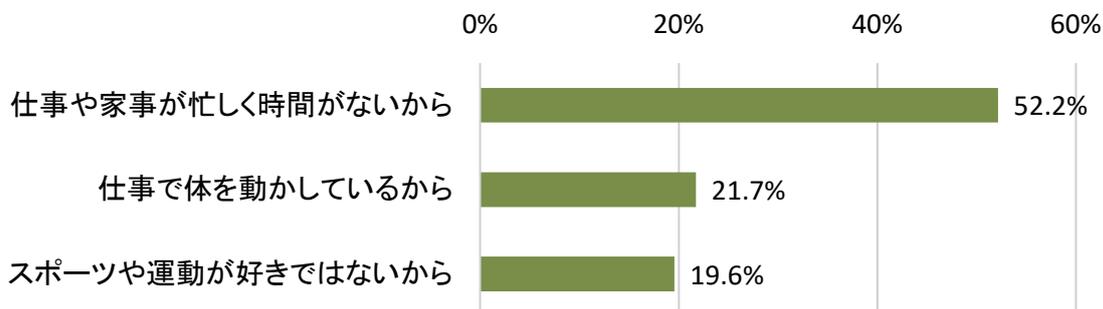


<スポーツや運動をする理由（不明・未回答を除く）>



この5年間に行ったスポーツや運動を行わなかった人は、回答者全体の8.8%（46名）であり、その理由は、「仕事や家事が忙しく時間がないから」が過半数を占めています。

＜スポーツや運動をしていない理由（上位3項目抜粋）＞



これから行ってみたい、または今後も続けていきたいと思うスポーツや運動については、「ウォーキング・散歩」が60%以上を占め、最も高くなっています。スポーツや運動をすることは、心身の健康づくりにもつながるため、スポーツや運動の実施率の向上のための継続的な取組みが重要となります。

「みる」スポーツは、「する」スポーツとは異なり、「野球（硬式・軟式）、ソフトボール」「サッカー、フットサル」が半数以上を占める結果となりました。

＜これから行ってみたい、または今後も続けていきたいと思うスポーツや運動（上位10項目抜粋）＞

＜テレビやインターネット配信でスポーツ観戦をしたり、スタジアムや沿道などで実際にスポーツ観戦したスポーツや運動（上位10項目抜粋）＞

【する】スポーツ		【みる】スポーツ	
新しく行ってみたい、または今後も続けていきたいと思うスポーツや運動		テレビやインターネット配信でスポーツ観戦をしたり、スタジアムや沿道などで実際にスポーツ観戦をしたりしたスポーツや運動	
ウォーキング・散歩	64.8%	野球(硬式・軟式)、ソフトボール	50.6%
体操(ラジオ体操、エアロビック、ヨガ、縄跳びなど)	33.7%	サッカー、フットサル	50.6%
室内運動器具(ウエイト器具、ランニングマシン、バランスボールなど)を使ってする運動	24.0%	バレーボール、ビーチバレーボール、ソフトバレーボール	41.9%
登山、トレッキング、ハイキング	17.5%	陸上競技	34.6%
ジョギング・ランニング	16.7%	柔道、相撲	30.6%
水泳(水中歩行・水中運動などを含む)	13.5%	卓球、ラージ卓球	30.6%
キャンプ	11.3%	ゴルフ	24.0%
マレットゴルフ、ゲートボール	10.0%	テニス、ソフトテニス	22.5%
ゴルフ	9.6%	ウィンタースポーツ(スキー、スノーボードなど)	22.5%
ウィンタースポーツ(スキー、スノーボードなど)	9.6%	水泳(水中歩行・水中運動などを含む)	19.0%

(3) スポーツイベントや大会への参加

この5年間にどのようなスポーツイベントや大会などに参加したかでは、「区や育成会が主催するイベントや大会（運動会、球技大会など）」が19.4%と最も多く、次いで「村や公民館が主催するイベントや大会（元旦初走り、駅伝競走大会、村民体育祭、健康づくりイベント）」が13.5%、「学校やPTAが主催するイベントや大会（運動会、親子レクリエーションなど）」が12.9%であり、「参加したことがない」は49.6%となっています。

一方、どのようなスポーツイベントや大会などに参加したいと思うかでは、「健康づくり」が45.0%、次いで「レクリエーション」が23.1%、「野外活動（ウォークラリー、オリエンテーリング他）」が14.8%という結果になっています。

健康づくりへの関心が高まる中、村民ニーズに即したスポーツイベントなどの開催が求められています。

＜どのようなスポーツイベントや大会などに参加したか (その他・未回答を除く)＞

参加したスポーツイベントや大会	回答数 (複数回答)	割合
区や育成会が主催するイベントや大会（運動会、球技大会など）	101	19.4%
村や公民館が主催するイベントや大会(元旦初走り、駅伝競走大会、村民体育祭、健康づくりイベント)	70	13.5%
学校やPTAが主催するイベントや大会（運動会、親子レクリエーションなど）	67	12.9%
長野県や他の市町村が主催するイベントや大会	42	8.1%
職場（会社）主催のイベントや大会（ボウリング、野球、ゴルフコンペなど）	41	7.9%
NPO法人南箕輪わくわくクラブ（以下、わくわくクラブという。）、他のスポーツクラブやサークルが主催するイベントや大会	30	5.8%
参加したことがない	258	49.6%

＜どのようなスポーツイベントや大会などに参加したいか (その他・未回答を除く)＞

参加したいスポーツイベントや大会	回答数 (複数回答)	割合
健康づくり	234	45.0%
レクリエーション	120	23.1%
野外活動（ウォークラリー、オリエンテーリング他）	77	14.8%
スポーツ教室や講習会	49	9.4%
競技などの大会	41	7.9%
民間が主催する教室やイベント	32	6.2%
体力テストやスポーツテストなど	31	6.0%
指導者講習会や審判講習会	7	1.3%

(4) スポーツや運動施設的环境

この5年間に村のスポーツ・運動施設を利用したことがあるかでは、施設は「大芝高原セラピーロード」が37.1%、次いで「村民体育館」、「大芝アスレチック場」がともに19.8%となりました。

将来、設置を希望する公共スポーツ施設は何かでは「複合スポーツ施設」が43.8%となっていることから、健康や体づくり、競技・レクリエーションなど多様なニーズに対応する複合スポーツ施設の設置などが求められています。

<村のスポーツ・運動施設の利用状況（上位10項目抜粋）>

順位	村のスポーツ・運動施設の利用状況	回答数 (複数回答)	割合
1	大芝高原セラピーロード	193	37.1%
2	村民体育館	103	19.8%
3	大芝アスレチック場	103	19.8%
4	学校体育館	84	16.2%
5	公民館	68	13.1%
6	大芝マレットゴルフ場	67	12.9%
7	屋内運動場	59	11.3%
8	学校グラウンド	51	9.8%
9	大芝足つぼロード	39	7.5%
10	大芝森の交流施設・森の学び舎(運動講座など)	33	6.3%

<将来、設置を希望する公共スポーツ施設は何か（上位5項目抜粋）>

順位	将来、設置を希望する公共スポーツ施設	回答数 (複数回答)	割合
1	複合スポーツ施設	228	43.8%
2	野外スポーツ施設(テニスコートやアスレチック場などを含む)	107	20.6%
3	屋内運動場	98	18.8%
4	体育館	62	11.9%
5	グラウンド	27	5.2%



(5) 子どものスポーツや運動環境

子どものスポーツや運動の環境を充実するために、どのようなことに力を入れたらよいと思うかでは、「子どもが体を動かしたくなる（動かせる）場や施設などの充実」が58.8%、次いで「子どもが気楽に活動できるスポーツクラブなどの充実」が49.0%、「親子や家族でスポーツする機会の充実」が30.6%という結果になっています。

＜子どものスポーツや運動の環境を充実するために、どのようなことに力を入れたらよいか（その他・未回答を除く）＞

子どものスポーツや運動の環境を充実するために	回答数 (複数回答)	割合
子どもが体を動かしたくなる(動かせる)場や施設などの充実	306	58.8%
子どもが気楽に活動できるスポーツクラブなどの充実	255	49.0%
親子や家族でスポーツをする機会の充実	159	30.6%
トップアスリートとの交流	112	21.5%
子どものスポーツや運動指導者のデータベース化と活用	51	9.8%

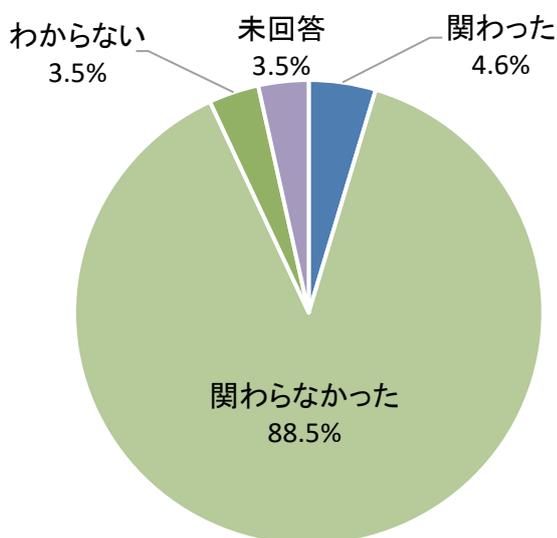
(6) 障がい者スポーツ

この1年間に障がい者スポーツに関わったことはあるかでは、「関わらなかった」が90%近くを占める結果となりました。

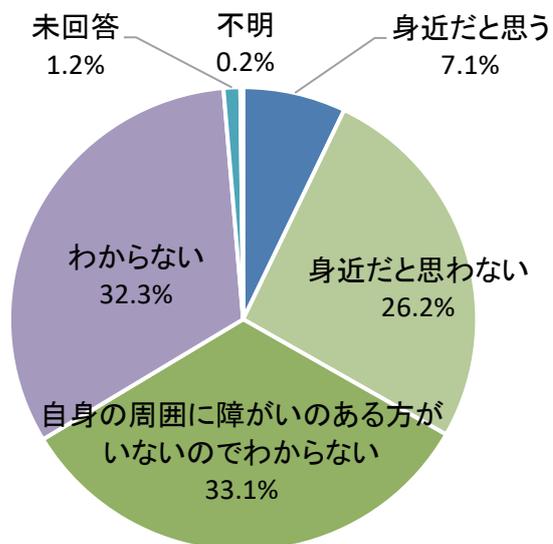
あなたの周りの障がいのある方々にとってスポーツは身近なものであるかでは、「自身の周囲に障がいのある方がいないのでわからない」が33.1%、次いで「わからない」が32.3%、「身近だと思わない」が26.2%という結果になりました。

障がい者スポーツの継続的な普及啓発が必要となっています。

＜障がい者スポーツに関わったことはあるか＞



＜あなたの周りの障がいのある方々にとってスポーツは身近なものであるか＞



(7) スポーツクラブやサークルへの加入率

どのようなスポーツや運動のクラブ・サークルに加入しているかでは、全体として「加入していない」が70.2%、次いで「地域（村内）で組織しているクラブやサークル」が7.1%、「NPO法人南箕輪わくわくクラブ（総合型地域スポーツクラブ）」が6.3%となりました。全体の29.8%の人が、何かのクラブやサークルに加入していると回答しています。

＜どのようなスポーツや運動のクラブ・サークルに加入しているか（その他・未回答を除く）＞

順位	スポーツや運動のクラブ・サークル加入状況	回答数 (複数回答)	割合
1	地域（村内）で組織しているクラブやサークル	37	7.1%
2	NPO法人南箕輪わくわくクラブ(総合型地域スポーツクラブ)	33	6.3%
3	友人や仲間で組織しているクラブやサークル	31	6.0%
4	民間のスポーツ施設などが開設している会員制のクラブ	30	5.8%
5	他市町村のクラブやサークル、総合型地域スポーツクラブ	17	3.3%
6	学校のクラブやサークル	14	2.7%
7	職場のクラブやサークル	13	2.5%
8	加入していない	365	70.2%

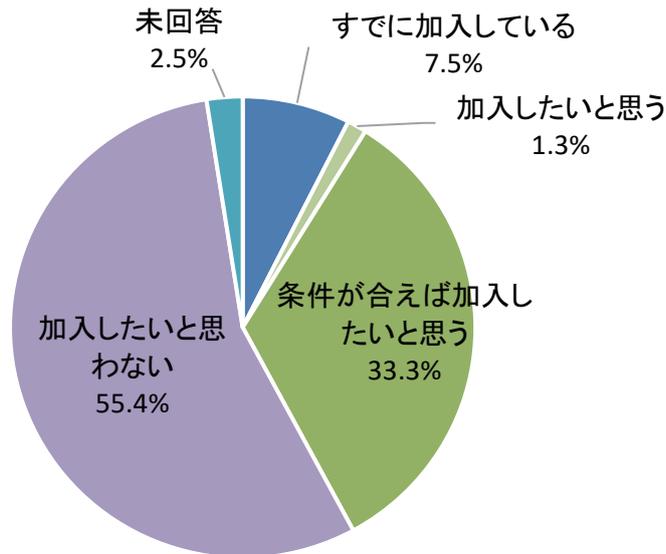


(8) NPO法人南箕輪わくわくクラブ

NPO法人南箕輪わくわくクラブ（以下、「わくわくクラブ」という。）に加入したいと思っているかでは、「加入したいと思わない」が55.4%、次いで「条件が合えば加入したいと思う」が33.3%、「すでに加入している」が7.5%という結果になりました。

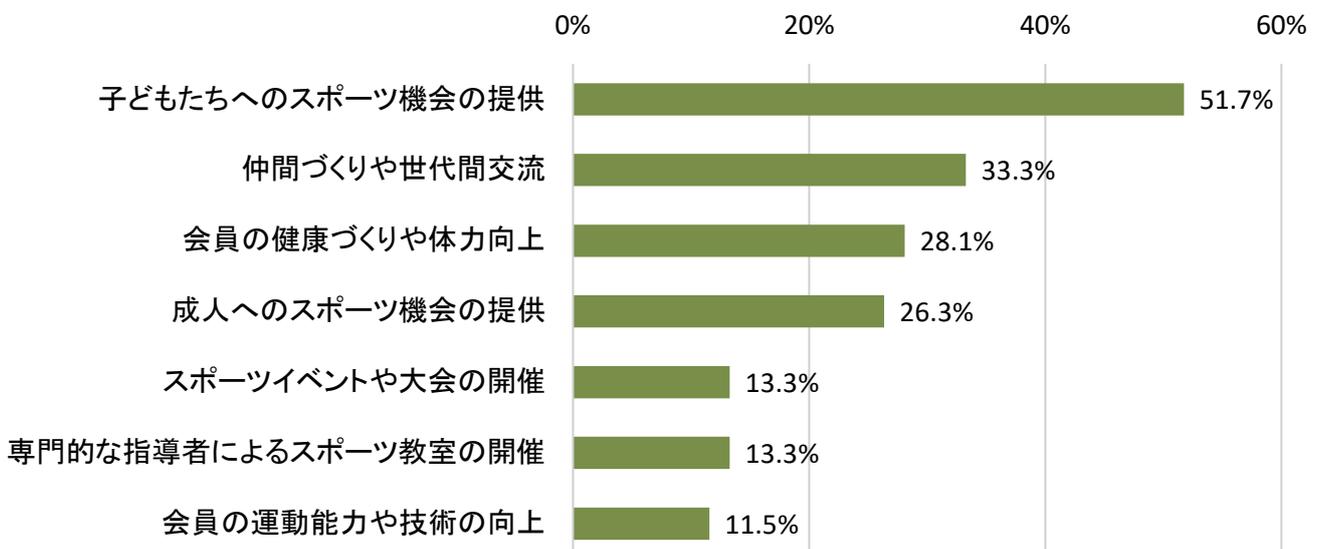
今後、村民ニーズに応じたクラブづくりを行うとともに、わくわくクラブの一層の周知が望まれます。

<わくわくクラブに加入したいと思っているか>



わくわくクラブに期待することはどんなことかでは、「子どもたちへのスポーツ機会の提供」が51.7%、次いで「仲間づくりや世代間交流」が33.3%、「会員の健康づくり体力向上」が28.1%という結果になりました。子どもたちへのスポーツ機会の提供をはじめ、世代を超えてスポーツや運動をいつまでも気軽に楽しむための事業を行うことが、わくわくクラブに期待されています。

<わくわくクラブに期待すること（その他・未回答を除く）>

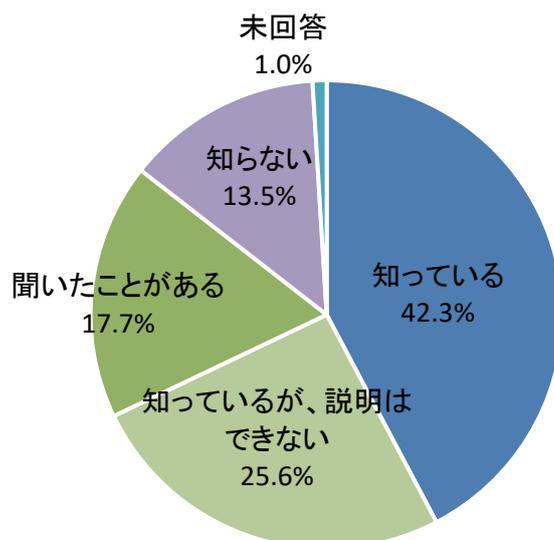


(9) VC長野トライデンツ（プロバレーボールチーム）

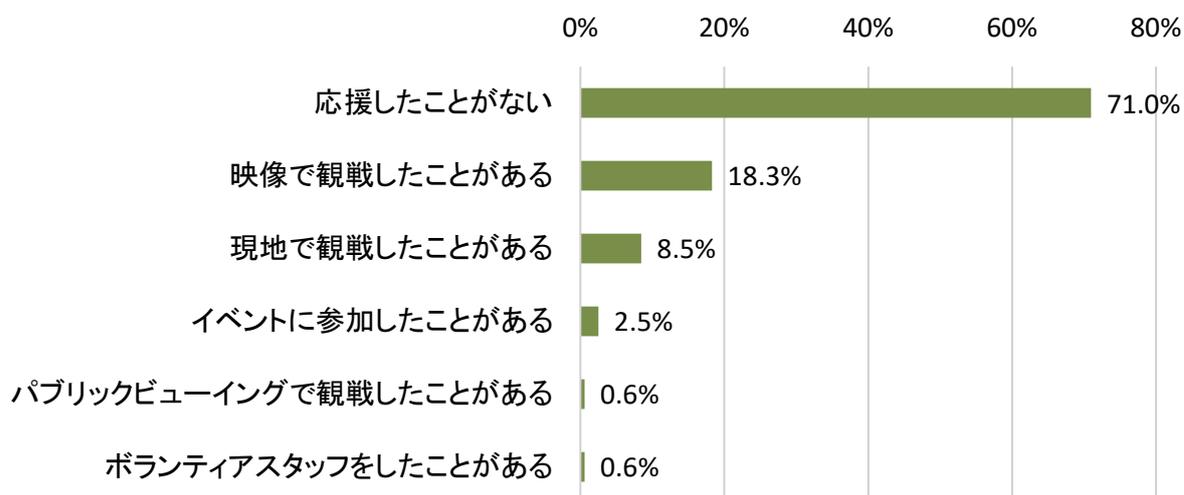
VC長野トライデンツ（以下「トライデンツ」という。）の活動について知っているかでは、「知っている」が42.3%、次いで「知っているが、説明はできない」が25.6%、「聞いたことがある」が17.7%という結果になりました。

また、応援したことがあるかでは、「応援したことがない」が71.0%という結果であり、トライデンツの認知度の向上が求められています。

<トライデンツの活動について知っているか>

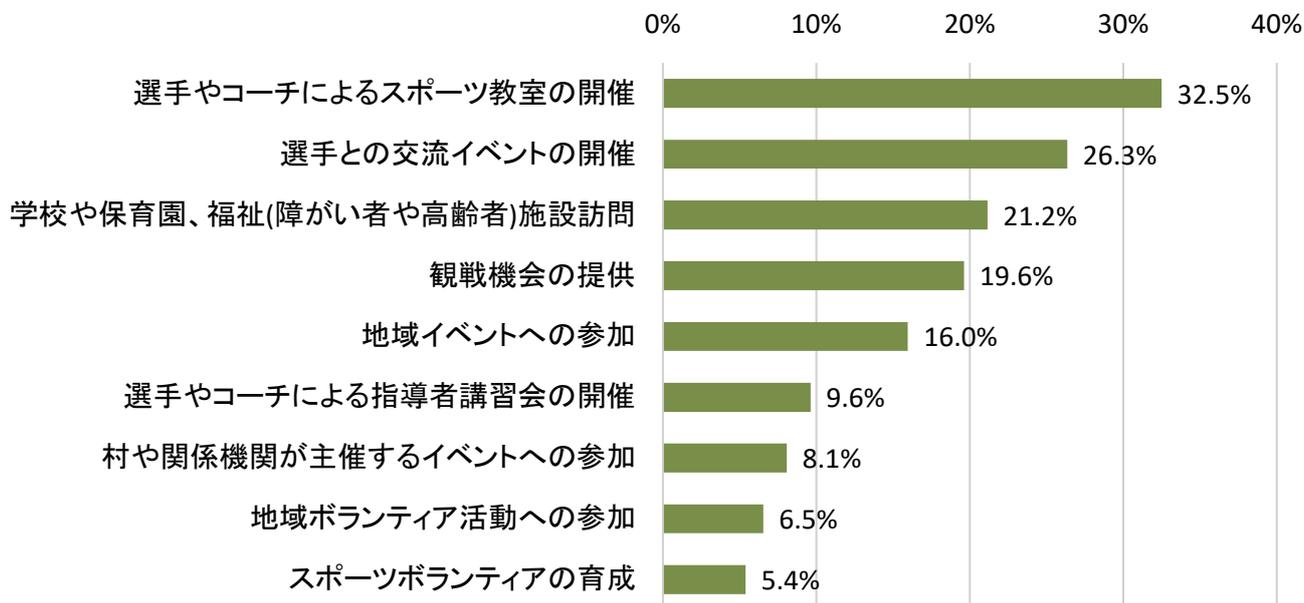


<トライデンツをどのように応援したことがあるか（その他・未回答を除く）>



今後の活動に期待することはどんなことかでは、「選手やコーチによるスポーツ教室の開催」が32.5%、次いで「選手との交流イベントの開催」が26.3%、「学校や保育園、福祉（障がい者や高齢者）施設訪問」が21.2%という結果になりました。トライデンツと地域の交流が求められています。

＜今後の活動に期待すること（その他・未回答を除く）＞

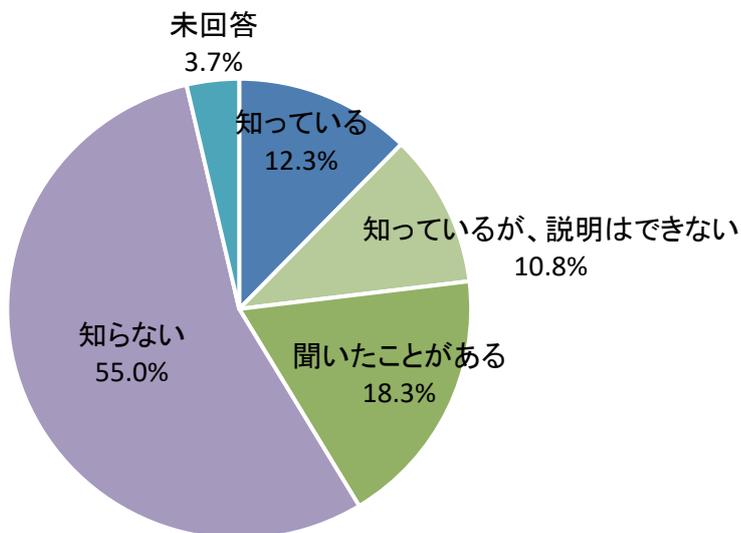


（10）スポーツ推進委員（旧体育指導員）

村にスポーツ推進委員がいることを知っているかでは、「知らない」が55.0%、次いで「聞いたことがある」が18.3%、「知っている」が12.3%という結果になりました。

スポーツ推進委員によるスポーツ推進や認知度の向上が求められています。

＜スポーツ推進委員がいることを知っているか＞



(11) 今後の村のスポーツ推進

村のスポーツ活動をより盛んにするためには、どのような方策を実施することが必要だと思うかでは、「初心者が気軽に参加できるスポーツイベントや教室の充実」が42.3%、次いで「子どもたちのスポーツ活動の充実」が25.2%、「健康維持を目的としたスポーツや運動の相談、指導の充実」が20.8%という結果になりました。スポーツや運動を気軽に取り組むことができる環境づくりや子どもたちのスポーツをはじめとする活動を充実させることが求められています。

<村のスポーツ活動をより盛んにするためには、どのような方策を実施することが必要か（その他・未回答を除く）>

スポーツ活動を盛んにするための方策	回答数 (複数回答)	割合
初心者が気軽に参加できるスポーツイベントや教室の充実	220	42.3%
子どもたちのスポーツ活動の充実	131	25.2%
健康維持を目的としたスポーツや運動の相談、指導の充実	108	20.8%
高齢者のスポーツ活動の充実	101	19.4%
働いている人のスポーツ活動の充実	95	18.3%
親子で取り組めるスポーツ活動の充実	83	16.0%
さまざまなスポーツを楽しめる施設の充実	74	14.2%
障がい者のスポーツ活動の充実	44	8.5%
南箕輪わくわくクラブの支援	40	7.7%
プロスポーツ選手やトップクラスの選手から指導を受ける機会の増加	29	5.6%
V C長野トライデンツの試合をはじめ、様々なスポーツを観戦する機会の充実	29	5.6%
様々なスポーツクラブやサークルの育成	27	5.2%
スポーツに関する広報活動の充実（イベントなど最新情報の提供）	23	4.4%
スポーツ指導者の育成や活動の支援（データベース化と活用を含む）	14	2.7%
スポーツボランティアの体制づくり、人材育成の支援	6	1.2%



2 南箕輪村におけるスポーツ環境の課題

令和2年からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、様々なスポーツ活動の自粛やスポーツイベントの中止により、スポーツや運動に親しむ機会が減少しました。また、感染症対策の影響により人々の生活環境は大きく変化し、村民のスポーツや運動に関する意識にも変化が起きています。一方、コロナ禍でスポーツや運動機会が少なくなったことにより、スポーツには日々の生活や社会に活力を与えるなど優れた力や価値があることが再確認されることになりました。今後は、村民の誰もが気軽にいつでもスポーツや運動ができるよう、社会状況の変化、スポーツ環境の変化に柔軟に対応した取組みが求められています。

【子どものスポーツや運動】

子どもの遊びや生活習慣は大きく変化し、また積極的にスポーツや運動に親しむ子どもとそうでない子どもの二極化が進んでいます。本村の小・中学校男女の体力合計点は全国と同様に低下傾向にあります。

子どもにとってスポーツは、健康増進や体力向上だけではなく、精神面の成長や友人とのコミュニケーション、協調性など、多くのことを学べる機会です。遊びとして楽しめるスポーツや運動機会の充実を図り、子どもが気軽にスポーツに取り組める環境の整備が必要です。

そして、スポーツや運動の発達段階に応じた習慣付け、体力の向上を図るほか、多くのスポーツや運動を知り、体験することで、好きなスポーツや運動、自分にあったスポーツや運動を見つけることのできる取組みが必要となっています。

【ライフステージに応じたスポーツや運動】

本村では生産年齢人口が増加していますが、働く世代はスポーツや運動をする時間や機会が限られ、運動不足が1つの原因として引き起こされる生活習慣病や、多様化する現代社会におけるストレスにより心の健康を損なう方も増えています。

気軽にスポーツに触れられる様、ライフステージに合わせたスポーツ教室や講座の開催が求められています。

スポーツや運動をすることは、質の良い睡眠、おいしく食事を摂ることの手助けとなります。また、一緒にスポーツを楽しめる友人や仲間づくりなど心の健康づくりにもつながります。今後、家族や仲間に参加できるイベント、時間や場所を問わずに実施できる運動プログラムなどライフステージに応じたスポーツや運動機会の提供が必要です。

本村の高齢化率も今後高くなることが想定されます。高齢者が行うスポーツや運動は、健康づくりや介護予防などの他、スポーツや運動を通じた生きがいくくり、地域の仲間づくりとしての役割もあります。高齢者が積極的にスポーツや運動に参加する機会を提供することが必要です。

【障がい者のスポーツ】

障がいのある方が、同じような障がいのある方と日常的にスポーツや運動を行っている場面は少なく、スポーツや運動をするきっかけが少ない環境にあります。

スポーツや運動に参加することができるようになるためには、施設のバリアフリー化などの環境整備をする他、指導者などの障がい者スポーツを支える人たちの育成・確保とともに、障がいのある人もない人も一緒に実施できるユニバーサルスポーツ※の普及・啓発活動を充実させることが必要です。

【総合型地域スポーツクラブやプロスポーツとの連携】

総合型地域スポーツクラブやプロスポーツチームとの連携などを通じた地域づくり、若い世代の競技力向上、子どもの成長やレベルに応じた専門的な指導など、スポーツニーズに対応した環境を整備することが必要です。

※ユニバーサルスポーツ…年齢、性別、障がいの有無やスポーツの得意・不得意などに関わらず、その場にいる誰もが一緒に楽しめるスポーツ



第 3 章

計画の基本的な考え方

- 1 基本理念
- 2 基本目標
- 3 体系図

豊かなスポーツライフの創造

～「する」「みる」「ささえる」スポーツの楽しさを～

本村のスポーツを取り巻く現状と課題を踏まえ、子どもから成人、高齢者、障がいのある人など、だれもが気軽にスポーツに親しみ、健康で豊かな暮らしを味わう村民が増えること、また、スポーツを通して地域の人々が交流し支え合うことで、地域が活性化することを目指し、『豊かなスポーツライフの創造～「する」「みる」「ささえる」スポーツの楽しさを～』を基本理念とし、生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組んでいきます。

2 基本目標

本計画の実現に向け、次の4つの基本目標を設定し、スポーツ施策を推進していきます。

I 子どものスポーツ環境の充実

子ども自身が遊びの中から体を動かすことに興味や関心を持ち、楽しみながらスポーツや運動を行える環境を提供することで、幼少期からの運動習慣づくりに取り組みます。

学校の体育や地域のスポーツクラブ活動などを通じて、日頃からスポーツや運動に親しむ子どもを増やし、生涯に渡ってスポーツや運動に親しむ素地をつくります。また、体力やコミュニケーション力・協調性などの向上を図ります。

II ライフステージに応じたスポーツへの関わり方の向上

村民一人ひとりの体力や生活リズムに合わせた、気軽に取り組むことができるスポーツや運動の機会を提供し、スポーツや運動の日常・定着化を図るとともに、村民の健康への関心を高め、スポーツや運動を通じた健康づくりを目指します。

また、高齢者に無理なく気軽に続けられるスポーツや運動の場、機会を提供することで、健康づくりや介護予防などの他、スポーツや運動を通じた生きがいづくりや地域の仲間づくりを目指します。

障がい者がいつでもスポーツに取り組める障がい者スポーツの理解促進を図るとともに、障がいのある人もない人もいっしょに実施できるユニバーサルスポーツの普及・啓発などソフト面の充実を目指します。

III スポーツ環境の充実

ハード面では、老朽化したスポーツ施設や設備の計画的な改修、障がい者を含め誰でも安全で安心して利用できるようにユニバーサルデザイン化を促進するなど、スポーツ環境の向上を目指します。

ソフト面では、スポーツや運動を楽しむための機会やスポーツを始めるきっかけとなるスポーツイベントプログラムやスポーツ教室などの開催機会を提供し、村民のスポーツや運動活動の活性化を図ります。また、スポーツを支える人材（ボランティアなど）を育成するため、スポーツ推進委員やわくわくクラブ、プロスポーツチームなど地域のスポーツ関係団体と連携し、スポーツ指導者の発掘と育成を目指します。

IV スポーツ推進と地域活性化

村民、民間事業者、総合型地域スポーツクラブをはじめとするスポーツ団体、プロスポーツ団体、行政が連携してスポーツ推進に取り組むことで、スポーツや運動を楽しむ機会を増やし地域活性化につなげます。また、スポーツや運動の楽しさや魅力、イベント関連情報など村民のニーズにあった情報を届ける取り組みを進め、村民のスポーツや運動への興味や関心の向上を図ります。

3 体系図

〈基本理念〉	〈基本目標〉	〈施策〉	〈取組み〉
豊かなスポーツライフの創造 「する」「みる」「ささえる」スポーツの楽しさを	I 子どものスポーツ環境の充実	1 子どもの運動機会の充実	(1) 子どもの体力、運動能力の向上 (2) 子どもの運動機会、スポーツ環境の充実 (3) 指導者研修の充実
		2 子どもを取巻く地域スポーツ環境の充実	(1) 学校における授業、スポーツ活動の充実と安全性の確保 (2) 障がいのある子どもの運動機会の充実と障がい者スポーツに対する理解の促進 (3) 部活動の地域クラブ活動への移行
	II ライフステージに応じたスポーツへの関わり方の向上	1 「する」「みる」「ささえる」スポーツの普及	(1) 「する」スポーツの充実 (2) 「みる」スポーツの普及 (3) 「ささえる」スポーツの普及
		III スポーツ環境の充実	1 村のスポーツ環境の整備
	2 スポーツクラブやサークルの充実		(1) NPO法人南箕輪わくわくクラブ（総合型地域スポーツクラブ）の目的実現に向けた支援 (2) スポーツ推進委員の活動の充実 (3) スポーツ指導者の確保・育成
	IV スポーツ推進と地域活性化	1 村のスポーツ推進と地域活性化	(1) 地域の諸団体・機関や民間事業者との連携による活性化 (2) プロスポーツとの連携 (3) スポーツ情報の積極的な発信

第4章

具体的な施策

- I 子どものスポーツ環境の充実
- II ライフステージに応じたスポーツへの関わり方の向上
- III スポーツ環境の充実
- IV スポーツ推進と地域活性化

I 子どものスポーツ環境の充実

1 子どもの運動機会の充実

(1) 子どもの体力、運動能力の向上

幼児期における体力・運動能力の向上

文部科学省の幼児期運動指針※に従い、幼児期における適切な運動を推進し、丈夫でバランスのとれた身体を育みます。また、幼児期から様々な機会を通して身体を動かすことの重要性を保護者に理解してもらえるよう啓発に努めます。

身体と心の育成

外遊びや身体を動かす遊びの機会を増やすことで、健やかな心と身体を育成するとともに、社会性を育みます。

子どものためのスポーツ教室をはじめとする環境整備

子どもの体力、運動能力を向上するため、保育園やスポーツ関係団体などと協力し、子どもの頃からいろいろなスポーツや運動にチャレンジできるよう各種スポーツ教室を開催します。

こども館などを活用したスポーツ・レクリエーション活動の充実

こども館などでの運動遊びやスポーツイベント、レクリエーション活動を通して子どもたちの運動能力の向上や習慣化につなげます。

(2) 子どもの運動機会、スポーツ環境の充実

幼児期からの運動機会の充実

幼少期から運動を習慣づけ、スポーツや運動を親しむ子どもの育成を図るため、保育園やスポーツ関係団体などと連携し、親子で楽しめる運動遊びやスポーツ体験の機会の充実を図ります。

子どもの地域スポーツ環境の整備

わくわくクラブなどをはじめとするスポーツ関係団体などの地域におけるスポーツ活動を支援し、幼児期の子ども、運動の苦手な子ども、障がいのある子どもなど、多様な子どもが参加しやすいスポーツ環境を整備します。

プロスポーツ団体とのスポーツ交流

トライデンツなど、プロスポーツ団体とのスポーツ交流の機会を増やすことで、子どもたちがスポーツに関心を持つきっかけづくりにつなげます。

過度なスポーツや運動による事故や障害などの防止

医療機関やスポーツ団体などと連携し、過度なスポーツや運動による事故や障害を防止するための取組み、学習機会の提供を行います。

※幼児期運動指針…運動習慣の基盤づくりを通して、幼児期に必要な多様な動きの獲得や体力・運動能力を培うとともに、様々な活動への意欲や社会性、創造性などを育むことを目指し、幼児期の運動の在り方についての指針を策定した。なお、ここで示す幼児とは、3歳から6歳の小学校就学前の子どもを指す。

(3) 指導者研修の充実

指導者研修機会の充実

スポーツ指導に関する知識や技能を身に付け、子どもが安全に楽しく運動に取り組み、体力やコミュニケーション能力などを高められるよう、指導者研修の充実を図ります。

- ・長野県体育センターで行われる生涯スポーツ研修講座の周知
- ・総合型地域スポーツクラブ育成・支援・定着研修講座への参加支援
- ・南箕輪村及びわくわくクラブが主催する指導者研修会への参加支援

多種多様なスポーツを教えられる指導者の育成

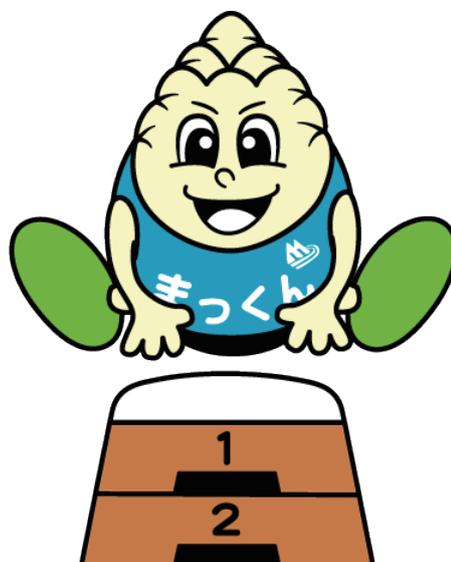
特定のスポーツや運動に限らず、様々なスポーツや運動を取り入れることで、子どもの身体機能や運動能力の向上が期待されます。幅広くスポーツを教えられる指導者の確保・育成を目指し、データバンクを整備するとともに指導者研修や講習会を開催します。

障がい者スポーツ指導者の確保・育成

障がい者スポーツに携わる人たちを対象に、障がい者スポーツへの理解を深めるとともに、障がい者スポーツ指導員養成講習会などを実施し、指導技術と障がい理解を併せ持つ指導者の確保・育成に努めます。

スポーツによるけがや事故防止

自己の健康管理意識を高めるとともに、スポーツによるけがや事故の未然防止ができるよう安全研修会などを開催します。



2 子どもを取巻く地域スポーツ環境の充実

(1) 学校における授業、スポーツ活動の充実と安全性の確保

学校における教育活動への専門指導員など（体育専科・人的支援）の導入

小・中学校において、児童生徒の体力・運動能力の向上、健全な心身の育成を目指し、体育の授業や運動部活動などのスポーツ活動の充実を図ります。

さらに、小学校における体育専科教員の配置、小中学校でのスポーツ指導における外部指導者の活用を推進し、児童生徒が多種多様なスポーツを専門的・科学的な指導のもと、安全に行える環境づくりを推進します。

遊びを通じたスポーツや運動習慣づくり

休み時間など日々の学校生活において、遊びの紹介や遊び方の指導を通して、身体を動かすことが好きな子どもを増やしていきます。

様々なスポーツやトレーニングの紹介・育成

子どもたちが身体を動かす楽しさを感じられるニュースポーツやトレーニング方法などについて紹介し、スポーツや運動好きで生涯にわたりスポーツや運動に親しむことのできる子どもの育成を目指します。

子どものスポーツ環境の充実

学校体育以外でも運動をしたい子どもや運動機会の少ない子どもなど、様々なニーズを持つ子どもが活動できるように、少年スポーツクラブやわくわくクラブをはじめとする地域スポーツクラブの充実を図り、全ての子どもに運動機会を提供できる環境を整備します。

教員の資質向上

体育の指導に携わる教員の研修の充実に努めます。

安全性の確保

熱中症予防や感染症対策などの周知徹底、スポーツ活動に対する指導者の安全意識の向上・スキルアップに努め、スポーツや運動に取り組む子どもたちの安全確保に努めます。



(2) 障がいのある子どもの運動機会の充実と障がい者スポーツに対する理解の促進

障がいのある児童生徒のスポーツや運動機会の充実

障がいの種類や程度に応じて必要な配慮がなされるよう、関係者や保護者の障がいに対する理解を促し、特性や成長段階に応じた配慮をしながら、障がいのある児童生徒が、楽しく気軽にスポーツや運動に参加できる環境の整備を推進し、運動機会の充実を図ります。

みんなで取り組めるスポーツ環境の整備

児童一人ひとりが楽しめる体育の授業や学校行事としてのスポーツ活動を工夫し、みんなが楽しく取り組めるスポーツ環境の整備に努めます。

(3) 部活動と部活動の地域クラブ活動への移行

部活動と中学生の地域クラブ

長野県や村の中学生期のスポーツ活動指針に基づく子どもたちの育ちに応じた適正で効果的な活動を通して、運動好きで生涯にわたり運動に親しむ子ども（生徒）の育成を目指します。

運動機会の少ない生徒が楽しくスポーツや運動を行うことのできるスポーツ環境や生徒の多様なニーズに応じた経験ができるスポーツ環境づくりに取り組みます。

※南箕輪村の中学生期のスポーツ活動指針は、県の指針を参考にして策定を予定しています。

部活動の地域クラブへの移行

将来にわたって持続可能なスポーツ・文化活動の環境整備と教員の負担軽減の両方を実現していく改革として、運動部活動の地域移行がスポーツ庁より示されました。

本村においては、教育委員会が中心となって、中学校、わくわくクラブの連携のもと、地域クラブへの移行について調査研究を進め、できるところから随時実施していきます。



II ライフステージに応じたスポーツへの関わり方の向上

1 「する」「みる」「ささえる」スポーツの普及

(1) 「する」スポーツの充実

スポーツを通じた健康維持・増進

子どもから高齢者まで、あらゆる年代の村民がスポーツに親しみ、日常生活の中に運動を取り入れることができる環境を整備することで、切れ目のない健康づくりを支援し、村民一人ひとりの健康の増進と体力の維持向上を目指します。

また、スポーツ推進委員やスポーツ関係団体などと連携し、気軽に取り組めるレクリエーションプログラムやニュースポーツの普及促進を図り、スポーツの面白さ、楽しさを伝えます。

子育て世代のスポーツ機会の充実

運動時間が不足しがちな子育て世代が心身の健康を保つための運動など、子育て世代のニーズや意欲にあったスポーツ機会の提供を促進します。

子育て世代が、親子でコミュニケーションを図りながら、一緒に楽しくスポーツや運動に取り組むことのできる教室やイベントを実施します。

いろいろな遊びの中で、身体を動かすことの楽しさを感じ取ることができるような親子運動や遊びの普及に努めます。

働く世代のスポーツ機会の充実

働く世代が参加しやすい日程・時間帯のスポーツ教室の実施など、気軽にスポーツや運動を行える環境づくりを行います。また、日常生活におけるウォーキングや体操など、限られた時間の中で気軽に実施できる運動の普及啓発を図ります。

高齢者のためのスポーツ教室・講座

身体を動かす楽しみや介護予防の観点から、高齢期におけるスポーツ活動が積極的に行われるよう、高齢者のニーズに応じた各種スポーツ・レクリエーション教室・講座を実施し、高齢者の健康増進・体力向上を図るとともに、フレイル予防や高齢者の生きがいづくりにつなげていきます。

また、高齢者が自らスポーツを「する」だけでなく、選手の応援や大会ボランティアへの参加など、「みる」「ささえる」スポーツへの興味や関心を喚起する取組みの充実を図り、スポーツを通じた社会参加を推進します。

ユニバーサルスポーツやレクリエーションスポーツの普及・啓発

年齢や性別、国籍・障がいの有無に関わらず、みんなが身近なところで一緒に楽しむことができるユニバーサルスポーツを体験する機会を創出し、スポーツを通じた相互理解や共生社会の実現を目指します。

また、各世代の方と一緒に楽しむことができるポッチャをはじめとするユニバーサルスポーツの普及を促進します。

(2)「みる」スポーツの普及

プロスポーツチームなどと連携したスポーツの魅力発信

プロスポーツチームなどと連携・協働することで、スポーツの観戦機会の創出を図ります。また、選手との交流をきっかけにスポーツへの関心を高め、スポーツの魅力が伝わる「みる」スポーツイベントなどの開催を支援します。

南箕輪村を活動拠点とするスポーツチームと連携し、試合の観戦や応援などを通して村民の「みる」スポーツの定着を図るとともに、スポーツを活用して交流の拡大に努めます。

(3)「ささえる」スポーツの普及

スポーツボランティア機会の拡充

村のスポーツ行事や、地域のスポーツ大会・イベントなどにおいて、村民のスポーツ活動を支える人材の育成を図るため、気軽にスポーツボランティアを経験できる機会を拡充し、やりがいと達成感を得ながら活動を継続できる環境づくりに取り組みます。

子どものスポーツや運動をささえる人材の発掘・育成

子どもの育ちに応じた運動の必要性について、親子運動教室などの講座や教室で、保護者に周知するとともに、子どものスポーツや運動をささえる人材を発掘・育成します。

青少年のスポーツをささえる人材育成

保護者や地域の方を対象とした子どものスポーツ教室などを開催し、青少年のスポーツを支える人材を発掘・育成します。

障がい者スポーツをささえる人材の育成

障がい者スポーツ支援にボランティアとして参画する者が増加するように関係機関と連携して取り組みます。

情報発信

大会やイベントの運営などに関わるスポーツボランティアに関する情報を発信し、「ささえる」スポーツへの関心を高めます。



III スポーツ環境の充実

1 村のスポーツ環境の整備

(1) 安全安心に利用できる施設環境の整備

スポーツ施設の維持管理

村民が既存のスポーツ施設を安全安心に利用し、健康増進を図れるよう、計画的な維持管理に努めるとともに、適切な運営方法について検討します。

各種目の実施に適応した設備・器具の充実を図るとともに、定期的な点検と適切な管理を実施し利用者が安全に利用できるようにします。

信州大芝高原のスポーツ・レクリエーション施設および森林セラピーロードの整備

信州大芝高原のスポーツ・レクリエーション施設及び森林セラピーロードについて、「大芝高原将来ビジョン」や「南箕輪村大芝高原施設整備計画」などにに基づき、健康増進を目的に利用者が安全安心に利用できるよう、適正な運営と維持管理を図ります。

老朽化した施設の計画的な改修

老朽化が進む既存のスポーツ施設については、長期的な視野に立ち、持続可能な施設となるよう計画的な整備に取り組みます。

また、誰もが安全で安心して利用できるように、トイレなどのユニバーサルデザイン化を※推進します。

※ユニバーサルデザイン・・・文化・言語・国籍や年齢・性別・能力などの個人の違いにかかわらず、出来るだけ多くの人々が利用できることを目指した建築・製品・情報などの設計のことであり、またそれを実現するためのプロセスである。



(2) 利便性の高い施設環境の整備

複合施設の新設

村民の誰もが健康づくりや気軽にスポーツを楽しむことのできる場として、また競技スポーツを「する」「みる」「ささえる」場として多目的に利用できる複合施設（体育館、柔道場、トレーニングルーム、ダンススタジオなど）の新設について検討します。

スポーツ施設予約システムの活用

スポーツ施設の予約や空き状況の確認などの予約システムにおいて、利便性の向上を図ります。

学校体育施設の開放

村民が気軽にスポーツを行える場として、村内小中学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲で、地域住民（登録団体）に開放します。また、より効果的な活用ができるよう適切な維持管理・運営について研究します。

また、高校及び大学など施設の空き時間を村民に提供してもらうために、高校・大学などとの連携を図ります。

施設のバリアフリー※化

学校体育施設や公共スポーツ施設のバリアフリー化を推進します。

関連付属施設の整備

利用者の利便性を向上するために、駐車場など関連付属施設の改善・整備に取り組みます。

村有施設・土地の活用

村内にあるコミュニティセンターや公民館などの施設、公園や空き地などをニュースポーツや競技人口の少ないスポーツの活動場所・健康づくりなどの場として有効活用していくことを検討します。

公園の設置

近年の本村の人口増加に対応し、各地区の住民が気軽に足を運び、身体を動かすことのできる場として、公園の整備・設置を推進します。

スポーツ施設の有効活用

わくわくクラブをはじめとするスポーツ関係団体と連携し、利用頻度の低い平日昼間を活用してスポーツ教室を開催するなど、スポーツ施設の効率的な運用を図ります。

※バリアフリー・・・対象者である障がいを含む高齢者などが、社会生活に参加する上で生活の支障となる物理的な障がいや、精神的な障壁を取り除くための施策、若しくは具体的に障がいを取り除いた事物および状態を指す。

(3) 障がい者スポーツ環境の整備

社会スポーツ施設の整備充実

障がいの有無や年齢、性別にかかわらず、誰もが安全で安心して利用できるよう、ユニバーサルデザイン化によるスポーツ施設の整備を図ります。

障がい者スポーツ大会・スポーツ教室・イベントなどへの参加支援

県や郡主催の障がい者スポーツ大会など、各種機関の主催するスポーツ教室・イベントなどについて周知・啓発し、スポーツ参加機会の増進を図り、共生社会の実現に努めます。また、スポーツを通じた、障がい者の自立と社会参加の推進に努めます。

障がい者スポーツの普及促進

村民が障がい者スポーツを見たり体験したりするイベント・教室などの開催を通して、交流や相互理解を深め、障がい者スポーツの普及に努めます。

スポーツ推進委員や関係団体と連携し、障がい者スポーツを支える人材の発掘や育成に努めます。

広報やホームページなどを活用し、障がい者スポーツに関する情報提供に努めます。



(4) スポーツイベントや教室の促進

スポーツ大会・イベント・スポーツ教室や講座の開催促進

スポーツや運動を始めるきっかけづくりやスポーツに親しむ機会を創出するために、幅広い層の村民が、誰でも気軽に参加できる大会やイベント、スポーツ教室や講座などの開催を推進します。

村民ニーズに対応したスポーツイベントの開催

村民体育祭や村駅伝大会に代わる幅広い層の村民のニーズに対応した「まっくんスポーツフェス」など、誰でも参加しやすいスポーツ・レクリエーションイベントをスポーツ推進委員、スポーツ関係団体、公民館などと協力して開催します。

スポーツ・レクリエーション活動の日常化

あらゆる世代が気軽に参加できるスポーツ教室やイベントを充実させ、スポーツや運動の日常・定着化を図ります。また、誰もが気軽楽しめるユニバーサルスポーツやレクリエーションの普及・啓発に努めます。

ニュースポーツの普及

スポーツ推進委員会において、ニュースポーツを中心に、スポーツを楽しむことを趣旨として要請に応じて指導を行います。

公民館や各種団体へのスポーツ活動支援

誰でも気軽にスポーツに親しむことができるように、各種団体や公民館が実施する身近なスポーツ活動を支援します。

競技スポーツ団体などの活動支援

競技スポーツの中核を担うスポーツ団体の育成・支援を行います。

その他スポーツによる地域活性化

村内施設を活用し、全国レベルのイベントやプロスポーツの試合、合宿の誘致等を目指し、スポーツによる地域の活性化を図ります。



2 スポーツクラブやサークルの充実

(1) NPO 法人南箕輪わくわくクラブ（総合型地域スポーツクラブ）の 目的実現に向けた支援



NPO 法人南箕輪わくわくクラブへの活動支援

わくわくクラブの事業の強化、充実した運営に向け、わくわくクラブとの連携を強化し、村のスポーツ振興を推進します。

また、わくわくクラブの目的実現に向けた支援を行います。

会員数の増加

わくわくクラブの活動状況などの情報を広報紙やホームページで発信し、地域における認知度を高め、クラブへの加入促進を図ります。

スクール（スポーツ教室）・講座開催支援

わくわくクラブによる指導者研修などに協力し、指導者の意識向上やスキルアップを図ります。

わくわくクラブが開催するスポーツ教室やイベントなどの活動場所の確保を支援します。

(2) スポーツ推進委員の活動の充実

スポーツ推進委員の資質向上

各種研修会への参加により、スポーツ推進委員の資質向上を図ります。また、スポーツ推進委員の役割や活動内容などについて村民に広く周知を図ります。

スポーツ推進審議会との連携・協働

南箕輪村スポーツ推進審議会の意見をもとにスポーツ振興施策を企画立案し、各種スポーツ団体と連携・協力し村民のスポーツ活動の環境づくりを推進します。

気軽に楽しめるスポーツの普及

スポーツ推進委員が中心となって、誰もが気軽に楽しめるユニバーサルスポーツ・ニュースポーツの普及に努めます。また、村民が気軽に参加できるスポーツイベントを開催します。

公民館や各種団体へのスポーツ活動支援（再掲）

誰でも気軽にスポーツに親しむことができるように、各種団体や公民館が実施する身近なスポーツ活動を支援します。

NPO 法人南箕輪わくわくクラブとの連携

各種研修会を通して、総合型地域スポーツクラブについての理解を深め、わくわくクラブが実施するスポーツ教室やイベントを支援します。

(3) スポーツ指導者の確保・育成

スポーツ指導者の育成

わくわくクラブと連携し、村民やスポーツ団体のニーズに合わせたスポーツ指導者養成講習会を実施するとともに、指導者の確保や育成を図ります。

障がい者スポーツ指導者の確保・育成（再掲）

障がい者スポーツに携わる人たちを対象に、障がい者スポーツ指導員養成講習会などを実施し、障がい者スポーツへの理解を深めるとともに、競技の指導スキルと障がい理解を併せ持つ指導者の確保・育成に努めます。

企業、大学、団体などと連携したスポーツ指導者の育成

企業や大学のそれぞれが持つ資源やノウハウを出し合うことにより、行政だけでは得られない新たな価値の創出を目指します。

指導者研修機会の充実（再掲）

スポーツ指導に関する基礎的な知識や技能を身に付け、子どもが安全に楽しく運動に取り組み、体力やコミュニケーション能力などを高められるよう、指導者研修の充実を図ります。

- ・長野県体育センターで行われる生涯スポーツ研修講座の周知
- ・総合型地域スポーツクラブ育成・支援・定着研修講座への参加支援
- ・南箕輪村及びわくわくクラブが主催する指導者研修会への参加支援



IV スポーツ推進と地域活性化

1 村のスポーツ推進と地域活性化

(1) 地域の諸団体・機関や民間事業者との連携による活性化

スポーツ関係団体との連携

わくわくクラブをはじめとするスポーツ関係団体や区・公民館などと連携し、地域が主体となって実施するスポーツ大会やイベントなどの開催を支援し、村民のスポーツ機会の拡充に努めます。

高校・大学などとの連携

高校や大学などとわくわくクラブをはじめとするスポーツ団体との連携強化により、青少年のスポーツ活動のさらなる充実を図ります。また、高校生や大学生のスポーツ活動などへの積極的な参加を推進し、スポーツの推進と地域の活性化を図ります。

民間事業者などとの連携・協働

公共スポーツ施設以外でも村民がスポーツに親しむ場を提供できるよう、民間事業者などと連携・協働し、民間企業のジムやフィットネスクラブ、事業所所有のスポーツ施設などの利用促進を行います。また、民間事業者のノウハウを活用した協働事業などを研究し、村民の一層の健康増進・体力向上につなげます。

エコツーリズムの推進

関係団体との連携によるスポーツイベント、サイクルラックやレンタサイクルの設置など、地域の魅力や価値を村内外へ伝えるエコツーリズムを推進します。また、経ヶ岳や大芝高原などの村内の豊かな自然環境をいかした様々なスポーツ大会やイベントの開催支援、新たな大会・イベントの企画や誘致などの取組みを通して、村の特色や魅力を広く発信するとともに村内外の交流拡大に努めます。



(2) プロスポーツとの連携

プロスポーツ団体と村民との交流機会の拡充

プロスポーツ団体と相互協力し、スポーツの普及に努めます。

南箕輪村を活動拠点とするスポーツチームと連携し、試合の観戦や応援などを通して村民の「みる」スポーツの定着を図るとともに、スポーツを活用して交流の拡大に努めます。

村民が地元スポーツチームに愛着を持てるよう、選手・指導者による講演会や教室・交流イベントなどの地域貢献活動への支援に努めます。

プロスポーツ選手によるスポーツ教室の定期開催

プロスポーツ選手との交流イベントやスポーツ教室などを開催し、子どもたちがトップスポーツへ夢や憧れを抱き競技に挑む意欲を喚起するとともに、村の地域づくりにつなげます。

トライデントの選手・トレーナーを講師に招き、親子で参加できるスポーツ講習会を開催します。

(3) スポーツ情報の積極的な発信

大会などの情報発信

スポーツに関する身近できめ細かな情報（各種スポーツ大会、教室・イベントの情報）をホームページや広報、SNS などを活用し、村民の幅広い層に周知できるよう努めます。

地域のスポーツ団体の活動についての情報発信

わくわくクラブをはじめとする地域で活動しているスポーツクラブなどの情報をホームページや広報、SNS などで発信したり、スポーツ団体の情報発信を支援したりすることで、村民に活動が周知されるよう取り組みます。

また、スポーツ活動への参加機会の拡大を図ります。

気軽に取組めるスポーツや運動の周知

村民のスポーツや運動を始めるきっかけづくりや習慣化を目指し、身近できめ細かな情報（例：ウォーキングなど日常生活や空き時間に気軽に実施できるスポーツなど）の提供を行います。



第5章

計画の実現に向けて

- 1 計画実現に向けた推進
- 2 適切な進行管理
- 3 成果指標と計画の検証

1 計画実現に向けた推進

国のスポーツ基本法に基づく理念を踏まえ、スポーツを推進していくためには、わくわくクラブをはじめとしたスポーツ関係団体や学校及び民間事業者など、スポーツに関する多様な主体が連携・協働して計画的に取り組むことが確実な推進へとつながっていきます。

このような観点から、本推進計画の基本理念である『豊かなスポーツライフの創造～「する」「みる」「ささえる」スポーツの楽しさを～』を実現するために、スポーツに関する多様な主体が連携・協働して、本村のスポーツを推進していきます。

2 適切な進行管理

本計画を推進するにあたり、その間の社会情勢や村民ニーズなどの変化を踏まえ、それに伴う課題に対応するため、計画に基づく実行の進捗から達成度を評価し、分析することにより各施策などを見直し、問題点の改善を図っていきます。

このような流れを持つ「PDCA（Plan - Do - Check - Action）」のマネジメントサイクルによって適切な進行管理に努めます。

3 成果指標と計画の検証

本計画の目標年次である 2033 年度（令和 15 年度）末に、基本理念である『豊かなスポーツライフの創造～「する」「みる」「ささえる」スポーツの楽しさを～』を実現するための成果指標を設定しました。

進捗状況の検証については、計画の期間内においても適宜行い、本計画の目標年次に合わせた 2033 年度（令和 15 年度）に、施策の最終評価を行います。

また計画の実施にあたっては、社会情勢や国・県の動向などに留意しながら、推進していくものとします。

分類	KPI	現状値 2022 年度	目標値 2033 年度
「する」スポーツ	週 1 回～2 回以上のスポーツや運動の実施率	62.1%	70.0%
	スポーツクラブやサークルへの加入率	29.8%	40.0%
	スポーツイベントや行事の参加率	50.4%	60.0%
「みる」スポーツ	スポーツの現地観戦の割合	27.1%	35.0%
「ささえる」スポーツ	ボランティア・仕事などスポーツを支える活動に関わった割合	19.4%	30.0%

現状値は、南箕輪村スポーツに関する村民アンケート調査結果（村 HP に掲載）より抽出。

巻末資料

「南箕輪村スポーツ推進計画策定の経緯」

「南箕輪村スポーツ推進計画策定委員会」委員名簿

「南箕輪村スポーツ推進審議会」委員名簿

計画策定の経緯

年月日	会議名
令和4年7月6日	南箕輪村スポーツ推進審議会において「南箕輪村スポーツ推進計画」策定について提案し、策定委員や策定計画について意見を聞く
令和4年9月21日	南箕輪村教育委員会から策定委員を委嘱し、南箕輪村スポーツ推進計画策定委員会を設置
令和4年9月21日	令和4年度 第1回南箕輪村スポーツ推進計画策定委員会を開催
令和4年10月26日	令和4年度 第2回南箕輪村スポーツ推進計画策定委員会を開催
令和4年11月18日 ～令和4年12月12日	南箕輪村スポーツに関する村民アンケート調査実施 アンケート配布
令和4年12月中旬	南箕輪村スポーツに関する村民アンケート調査実施 アンケート回収
令和4年12月中旬 ～令和5年1月末	南箕輪村スポーツに関する村民アンケート調査実施 アンケート集計作業
令和5年2月9日	令和4年度 第3回南箕輪村スポーツ推進計画策定委員会を開催
令和5年3月1日	令和4年度 第4回南箕輪村スポーツ推進計画策定委員会を開催
令和5年5月31日	令和5年度 第1回南箕輪村スポーツ推進計画策定委員会を開催
令和5年9月26日	令和5年度 第2回南箕輪村スポーツ推進計画策定委員会を開催
令和5年12月6日	令和5年度 第3回南箕輪村スポーツ推進計画策定委員会を開催
令和6年2月6日	令和5年度 第4回南箕輪村スポーツ推進計画策定委員会を開催
令和6年3月6日	南箕輪村スポーツ推進審議会に「南箕輪村スポーツ推進計画」(案)を報告
令和6年3月	南箕輪村スポーツ推進計画印刷
令和6年3月	公表南箕輪村議会へ報告及び公表

南箕輪村スポーツ推進計画策定委員会

委員長 征矢 和彦 副委員長 小林 智美

No.	氏 名	役 職
1	小 林 智 美	村スポーツ推進委員
2	吉 澤 秀 幸	南箕輪中学校 教頭
3	清 水 秀 朗	南箕輪小学校 教頭
4	林 宏 樹	令和4年度 南部小学校 PTA会長
	加 藤 文 子	令和5年度 南部小学校 PTA副会長
5	丸 山 剛 史	村障がい者生きがいセンター
6	福 澤 勇	令和4年度 村公民館長
	有 賀 克 明	令和5年度 村公民館長
7	増 澤 智 代	村社会教育委員
8	堀 内 香 純	健康運動指導士
9	野 溝 万 智 子	令和4年度 たけのこ園長
	高 橋 留 美	令和5年度 西部保育園長
10	田 中 博 美	村教育委員
11	征 矢 和 彦	学識経験者
12	出 羽 澤 重 則	NPO法人南箕輪わくわくクラブ マネージャー
13	松 本 隆 義	株式会社VC長野クリエイトスポーツ
	細 田 雄 二	株式会社VC長野クリエイトスポーツ
14	藤 森 史 人	南箕輪FC 代表

※同一番号…上段は令和4年度委員 下段は令和5年度委員

南箕輪村スポーツ推進審議会

会長 宮下 努 副会長 出羽澤 和子

No.	氏 名	役 職
1	平 澤 武 法	村スポーツ推進委員会 会長
2	出羽澤 和子	村教育委員
3	桐 山 清 一	南箕輪中学校 校長
4	赤 羽 昭 美	令和4年度 南箕輪小学校PTA会長
	檀 原 亜 紀 子	令和5年度 南箕輪小学校PTA副会長
5	山 田 美 和	わくわくエース南箕輪 代表
6	宮 下 努	村社会福祉協議会 会長
7	白 鳥 あゆみ	令和4年度 村保育園長会 会長
	塩 澤 美 由 紀	令和5年度 村保育園長会 会長
8	笹 川 星 哉	令和4年度 株式会社VC長野クリエイトスポーツ 代表
	大 矢 芳 弘	令和5年度 株式会社VC長野クリエイトスポーツ 代表
9	大久保 光恵	健康運動指導員
10	小 池 雅 司	NPO法人南箕輪わくわくクラブ 理事長

※同一番号…上段は令和4年度委員 下段は令和5年度委員

事務局

氏名	課名	職名
清 水 閣 成	教育委員会	教育長
藤 澤 勇	教育委員会	教育次長
丸 山 玲 奈	教育委員会	社会教育係長
長 田 翼	教育委員会	社会教育係
瀧 森 優	教育委員会	地域おこし協力隊
吉 野 孝 昭	教育委員会	地域おこし協力隊

南箕輪村スポーツ推進計画 2024 - 2033
発行 / 南箕輪村

〒399-4511 長野県上伊那郡南箕輪村南殿 4840-1
TEL 0265-76-7007

編集 / 南箕輪村教育委員会
製作 / 株式会社ローカルライフ